

Progress of the Year 2014 1

PY-01 5月21日(水) 13:10~15:10 第5会場(福岡国際会議場 2階 203)

ジストニア-パーキンソニズムの最近の進歩

座長: 加藤 丈夫(山形大学医学部内科学第三講座)
伊東 秀文(和歌山県立医科大学神経内科学講座)

PY-01-1 ATP13A2やカテプシン異常と神経変性疾患
演者: 小池 正人(順天堂大学医学部神経生物学・形態学講座)

PY-01-2 WDR45変異によるオートファジー障害が脳内に鉄沈着を伴う神経変性症を引き起こす
演者: 才津 浩智(横浜市立大学大学院医学群遺伝学)

PY-01-3 PLA2G6変異を伴う神経変性の病理について
演者: 吉田 眞理(愛知医科大学病院加齢医科学研究所)

PY-01-4 PLA2G6(Park14)遺伝子欠損マウスにおける神経変性のメカニズム
演者: 望月 秀樹(大阪大学大学院医学系研究科神経内科学)

Progress of the Year 2014 2

PY-02 5月22日(木) 8:00~10:00 第5会場(福岡国際会議場 2階 203)

多系統萎縮症 -Update-

座長: 佐々木秀直(北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座神経内科学分野)
西澤 正豊(新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野)

PY-02-1 MSAの臨床像と診断基準
演者: 渡辺 宏久(名古屋大学脳とこころの研究センター, 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科)

PY-02-2 MSAとオートファジー
演者: 若林 孝一(弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座)

PY-02-3 多系統萎縮症の素因遺伝子
演者: 辻 省次(東京大学病院 神経内科学教室)

PY-02-4 MSA画像診断の課題と可能性
演者: 佐々木眞理(岩手医科大学 医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)

Progress of the Year 2014 3

PY-03 5月23日(金) 8:00~10:00 第5会場(福岡国際会議場 2階 203)

脱髄性疾患の新たな切り口

座長: 竹内 英之(名古屋大学環境医学研究所)
山崎 亮(九州大学大学院神経治療学)

PY-03-1 多発性硬化症の新たな治療標的: Sema4A
演者: 中辻 裕司(大阪大学医学部 神経内科)

PY-03-2 視神経脊髄炎と多発性硬化症の新たな治療標的: high mobility group box 1
演者: 森 雅裕(千葉大学大学院医学研究院 神経内科学)

PY-03-3 Combined central and peripheral demyelinationの新規標的: neurofascin
演者: 河村 信利(河村病院 神経内科)

- PY-03-4 炎症性脱髄病巣におけるミクログリアの役割
演者：山崎 亮（九州大学病院 神経治療学講座）

Progress of the Year 2014 4

- PY-04 5月24日(土) 8:00~10:00 第7会場(福岡国際会議場 3階 メインホール)

新規抗凝固薬(NOAC)の登場：脳梗塞治療をどう変えるか？

座長：松本 昌泰（広島大学病院 脳神経内科）
橋本洋一郎（熊本市民病院）

- PY-04-1 血栓止血領域からみた各NOACの特徴
演者：矢坂 正弘（九州医療センター 脳血管・神経内科）

- PY-04-2 モニタリングと中和治療
演者：長尾 毅彦（東京女子医科大学 神経内科）

- PY-04-3 新規抗凝固薬(NOAC)の登場：脳梗塞急性期治療へのインパクト
演者：豊田 一則（国立循環器病研究センター 脳血管内科）

- PY-04-4 新規経口抗凝固薬の登場－慢性期脳梗塞治療へのインパクト
演者：田中耕太郎（富山大学附属病院神経内科）